



詳細版はこちら
(区役所HP)

めざす成果及び戦略1-1

地域活動協議会による自律的な地域運営の促進

計 画

具体的 取組

プロセス(過程) 指標

取組内容

単年度
目標

めざす状態（概ね3～5年間で念頭に設定）

防災、防犯など安心・安全なまちづくりにかかる取組及び地域福祉、子育て支援、地域コミュニティづくりなどその他地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態。

アウトカム指標

地活協の構成団体が、地域特性に即した地域課題の解決に向けた取組が自律的に進められている状態にあると思う割合：令和5年度までに90%以上

戦略

地活協のめざすべき姿に向けて、地域の実情に即したきめ細かな支援を行い、仕組みの定着を図ることで、より多くの住民参加による自律的な地域運営を実現する。

1-1-1

地域活動協議会を中心とした地域活動への支援

自分の地域に即した支援を受けることができていると感じた地域活動協議会の構成団体の割合：**69.1%以上**

R2年度自己評価
を踏まえ変更

地域活動協議会がアドバイザーによる支援に満足している割合：47.0%以上

区民アンケートで地域活動協議会を知っている区民の割合：49.4%以上

●地域実情に応じたきめ細やかな支援

- ・地域課題やニーズに対応した活動の実施に向けた支援
- ・オンライン活用への支援を充実
- ・区ホームページ等を活用した地域活動に役立つ情報等の発信
- ・地域担当職員による地域防災力向上に向けた支援
- ・地域活動協議会への補助金交付

77,153千円

●地域活動協議会の認知度向上に向けた支援

- ・地域活動協議会と連携して、認知度の向上および活動への参加・参画者の増加につなげるために、転入者パックに封入するくらしの便利帳、区広報紙、ホームページ、SNS、庁内スペース等を活用した広報を行う。

めざす成果 及び戦略2-1

こどもとおとながお互いに
元気になれるまち

計 画

めざす状態（概ね3～5年間で念頭に設定）

こどもやおとなも含めたあらゆる世代が地域で元気に過ごし、地域で顔見知りが増えて、誰もが自然に声を掛け合えるなど、地域全体で子育てを見守り、関わっている。

アウトカム指標

区民アンケートで子育てが長期的な視点でとらえられ、地域の多様な団体と行政により様々な施策が実施され、子育て環境が整備されていると感じる区民の割合：令和4年度までに70%

戦略

こどもも親も周りから見守り支えられているという安心感を得られるよう、『子育て=保育』といった短期的な視点で捉えるのではなく、親になるための心と体の準備期間である思春期から妊娠、出産、乳幼児、小中学生、青少年、成人となるまで長期的な視点を持ち、あらゆる世代が子育てに関わっていくための切れ目のない施策を進める。

具体的 取組

2-1-1

あらゆる世代が子育てに関わっていくための切れ目のない施策の推進

2-1-2

支援を必要とするこどもに合った施策につなげる
ことが出来る体制の構築

プロセス（過程）指標

単年度
目標

取組内容

① こどもみのりサポートネット推進員等が区内保育施設や子育てサロン・グループを訪問し、子育て・教育に関する情報提供を行った回数：370件以上

R2年度自己評価
を踏まえ変更

②-1 対象者へ支援終了時にアンケートを実施し「育児に自信が持てるようになった割合」：70%以上

②-2 助産師への相談利用者の満足度：90%以上

③ 区民アンケートで出前講座やホームページ上の子育て情報が役立っていると感じる割合：70%以上

R2年度自己評価
を踏まえ変更

① こどもサポートネットの取組により支援が必要であることが判明した子育て家庭のうち、適切な関係機関につなげた割合：80%以上

② 区独自の取り組みにより支援が必要であることが判明した子育て家庭のうち、適切な関係機関につなげた割合：80%以上

- ① 地域における見守り支援
- ② 助産師による専門的相談事業
- ③ 子育てに活かせる知識・情報発信

2,607千円

① 区内全小中学校において実施される、こどもサポートネットにおけるスクリーニング会議の結果を踏まえ、支援が必要な子育て世帯を適切な関係機関につなげる。

② 区独自の取組として上記①事業の対象を区内保育施設等に拡げて、支援が必要な子育て世帯を適切な関係機関につなげる。

12,065千円

めざす成果 及び戦略2-2

すべてのこどもが「生きる力」を身につける「子育て」、「共育」のまち

計 画

めざす状態（概ね3～5年間で念頭に設定）

すべてのこどもが健康で心豊かに力強く生き抜き、未来を切り拓いていくために必要な「生きる力（自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する能力）」を、主体的に身につけられるよう、地域における子育て・教育環境が整っている。

また、こどもの「生きる力」をはぐくむ土台となる自尊感情の重要性について、家庭や地域の人々が理解しており、共に学び、育てあう「共育」の取り組みが進み、次の世代へとつながっている。

アウトカム指標

区民アンケートですべてのこどもが「生きる力」を主体的に身に付けられる子育て・教育環境が地域において整っていると感じる区民の割合：令和4年度までに50%

戦略

「生きる力」を身に付けるために大切な自尊感情の向上のため、家族や地域とのふれあいや絆を深める機会や、心身ともに健全な成長を促進する取組、成功を実感できる体験づくりなどの施策を推進する。

また、こどももおとなも共に学び育つ環境が地域で構築され、次世代につながるよう、子育て世帯と地域の人々との交流を進める施策を推進する。

具体的 取組

2-2-1 「生きる力」の獲得、
「自尊感情」の向上の
ための施策の推進

- ①本事業が役立ったと回答した学校の割合：50%以上
- ②受講前より学校の授業が分かるようになったと回答する受講者の割合：50%以上
- ③「絵本読み聞かせ事業の取組が、子育てに絵本を取り入れるきっかけになると思う」また、「事業の取組に参加したことで、子どもと触れ合う時間が増えた」と回答する参加者の割合：それぞれ60%以上

2-2-2 子育て世帯を含む
地域住民の交流促進

- ①青少年育成区民大会等でアンケートを取り、子ども・青少年の健全育成に関する取組に参加したいと思ったと回答する人の割合：30%以上
- ②区民アンケートで「学校を活用した地域連携事業を知っている」と回答する区民の割合：40%以上

2-2-3 分権型教育の推進

- ①区内において、学校、地域の実情に応じた教育が行われたと感じる「保護者・区民等の参画のための会議」の委員の割合：90%以上
- ②区役所からの学校協議会に関する説明・情報提供は、学校協議会について理解を深めるのに役立ったと感じる学校協議会委員研修会対象委員の割合：80%以上

プロセス（過程）指標

単年度
目標

取組内容

- ①学校の実情に応じた教育支援事業
 - ・小中学校へのゲストティーチャー派遣事業
 - ・鑑賞教育事業
 - ・プログラミング教育支援事業
 - ・スクールカウンセラー事業
- ②民間事業者を活用した課外学習事業
- ③絵本の読み聞かせ事業

12,384千円

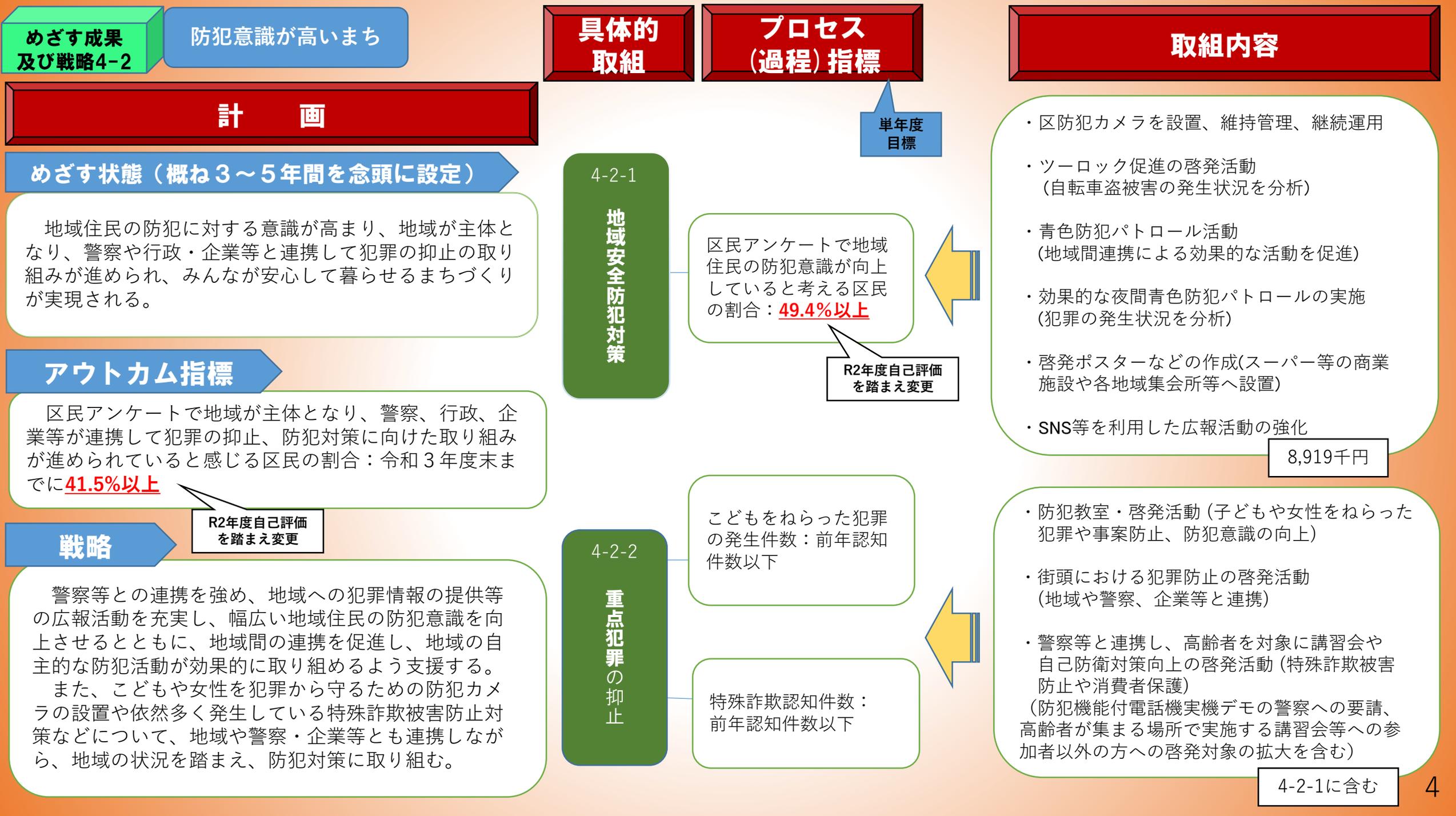
- ①青少年育成推進事業
- ②学校を活用した地域連携事業
 - ・はぐくみネット事業
 - ・生涯学習ルーム事業
 - ・学校体育施設開放事業

14,253千円

- ①区教育会議、区教育行政連絡会
- ②学校協議会への補佐

一 円

R2年度自己評価
を踏まえ変更



**めざす成果
及び戦略4-2**

防犯意識が高いまち

**具体的
取組**

**プロセス
(過程) 指標**

取組内容

計 画

めざす状態 (概ね3~5年間で念頭に設定)

地域住民の防犯に対する意識が高まり、地域が主体となり、警察や行政・企業等と連携して犯罪の抑止の取り組みが進められ、みんなが安心して暮らせるまちづくりが実現される。

アウトカム指標

区民アンケートで地域が主体となり、警察、行政、企業等が連携して犯罪の抑止、防犯対策に向けた取り組みが進められていると感じる区民の割合：令和3年度末までに**41.5%以上**

R2年度自己評価を踏まえ変更

戦略

警察等との連携を強め、地域への犯罪情報の提供等の広報活動を充実し、幅広い地域住民の防犯意識を向上させるとともに、地域間の連携を促進し、地域の自主的な防犯活動が効果的に取り組めるよう支援する。
また、子どもや女性を犯罪から守るための防犯カメラの設置や依然多く発生している特殊詐欺被害防止対策などについて、地域や警察・企業等とも連携しながら、地域の状況を踏まえ、防犯対策に取り組む。

4-2-1
地域安全防犯対策

区民アンケートで地域住民の防犯意識が向上していると考える区民の割合：**49.4%以上**

R2年度自己評価を踏まえ変更

4-2-2
重点犯罪の抑止

子どもをねらった犯罪の発生件数：前年認知件数以下

特殊詐欺認知件数：前年認知件数以下

単年度目標

- ・ 区防犯カメラを設置、維持管理、継続運用
- ・ ツーロック促進の啓発活動 (自転車盗被害の発生状況を分析)
- ・ 青色防犯パトロール活動 (地域間連携による効果的な活動を促進)
- ・ 効果的な夜間青色防犯パトロールの実施 (犯罪の発生状況を分析)
- ・ 啓発ポスターなどの作成(スーパー等の商業施設や各地域集会所等へ設置)
- ・ SNS等を利用した広報活動の強化

8,919千円

- ・ 防犯教室・啓発活動 (子どもや女性をねらった犯罪や事案防止、防犯意識の向上)
- ・ 街頭における犯罪防止の啓発活動 (地域や警察、企業等と連携)
- ・ 警察等と連携し、高齢者を対象に講習会や自己防衛対策向上の啓発活動 (特殊詐欺被害防止や消費者保護)
(防犯機能付電話機実機デモの警察への要請、高齢者が集まる場所で開催する講習会等への参加者以外の方への啓発対象の拡大を含む)

4-2-1を含む

計 画

めざす状態（概ね3～5年間で念頭に設定）

地域住民の交通安全・マナーに対する意識が高く、交通事故やトラブルが少ないまちづくりが実現される。

アウトカム指標

区民アンケートで地域が主体となり、警察や行政、企業等と連携して交通安全に向けた取り組みが進められていると回答する区民の割合：令和3年度末までに**35.2%以上**

R2年度自己評価を踏まえ変更

戦略

警察等との連携により交通ルール遵守と交通・駐輪マナーの啓発・指導を徹底するとともに、地域や企業等と連携した交通安全運動や普及啓発活動の推進に取り組む。

具体的
取組

プロセス
(過程) 指標

単年度
目標

4-3-1

自転車ルール・マナーの啓発

区民アンケートで地域住民の交通安全、自転車利用のルール周知・マナー向上が進められていると答える区民の割合：**38.6%以上**

R2年度自己評価を踏まえ変更

4-3-2

交通安全運動の推進

区民アンケートで日頃交通ルールを順守し、交通安全について意識していると回答する区民の割合：**80%以上**

- ・安全教室を実施するための支援（地域や学校、PTA等が主体となり、交通安全、自転車利用のルール・マナー向上）
- ・高齢者や保護者、子どもに対する自転車ルールの普及啓発活動
- ・放置自転車の多い駅周辺に啓発指導員を配置
- ・自転車利用適正化を目的にした普及啓発活動（自転車マナーアップ強化月間中）（地域や警察、企業等と連携）
- ・放置自転車の多い場所にトリックアートを用了路面シートを設置
- ・HPやSNS等を活用した自転車利用ルール周知（ルール違反による罰則を含む）・マナー向上の普及啓発の実施

7,285千円

- ・春・秋の交通安全運動（17地域）（地域や警察、企業等と連携）
- ・チラシやポスターの配架等（各交通事故防止運動期間中）
- ・SNSを活用した広報啓発活動

163千円